

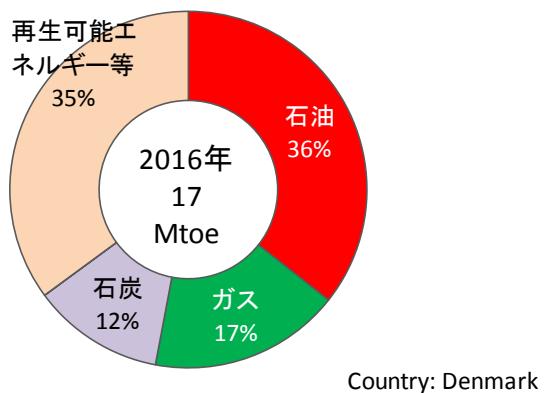
2-8 デンマーク

1. サマリー

1. エネルギー事情

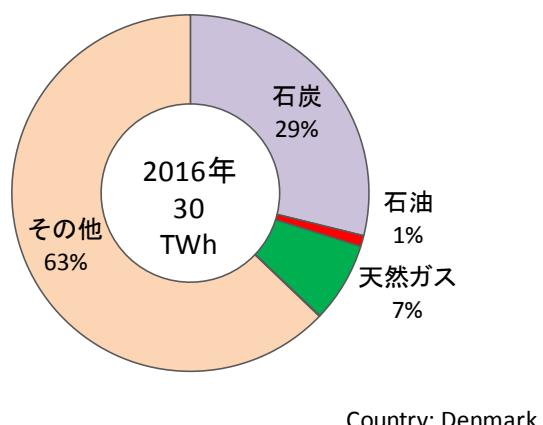
- (1) 一次エネルギー供給量(2016年) : 17 百万 toe(日本の 0.04 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2016年) : 2.89toe(日本の約 0.86 倍)
- (3) エネルギー自給率(2016年) : 90%
- (4) エネルギー起源 CO₂排出量(2015年) : 32.0 百万 CO₂換算 ton(日本の約 2.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂排出量(2015年) : 5.60CO₂換算 ton(日本の約 62.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2016年末) : 原油 8.5 年、天然ガス 2.9 年

一次エネルギー供給構成(2016年)



(出所)World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成(2016年)



(出所)World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策は、エネルギー・ユーティリティ・気候省(Ministry of Energy, Utilities and Climate)が所掌、傘下のエネルギー庁(Energy Agency)が行政全般を担う。2018年1月現在、エネルギー・ユーティリティ・気候省大臣はLars Christian Lilleholt氏。

(2) 基本政策

- エネルギー政策を支える基本方針は4つある：

- エネルギーの低炭素化にむけた政策を幅広くかつ持続的に進める。
- エネルギー政策立案に関しては全体的アプローチを採用する。
- ステークホルダーの参画と情報共有を通して意思決定を行う。
- 強力な国際協力を進める。

- 2011年2月、政府は「Energy Strategy 2050」を発表、2050年脱化石燃料を宣言した。
- 現行政策「The Energy Agreement of 2012」(2012年3月発表)では、2020年までに、①最終エネルギー消費量の35%を再生可能エネルギーで賄う、②電力供給の50%を風力で賄う、③エネルギー消費量を2010年比7.6%削減、④温室効果ガス排出量を1990年比34%削減、の4点の目標達成を目指している。

(3) 最近の動向

- 2015年6月に行われた総選挙の結果、Rasmussen元首相が主導する野党陣営が勝利したが、連立交渉がまとまらず、自由党単独政権である第2次Rasmussen内閣が発足した。
- 2016年11月、環境政策や税制を巡り、右派陣営内の基盤を固めるために、自由党、自由同盟、保守党の3党から成る第3次Rasmussen内閣が成立した。政策全般にわたる連合政権基本方針合意書の中で、環境政策については2030年までにエネルギー消費の50%を再生可能エネルギー由来とするとの目標を示した
- 2017年2月、大手発電事業者で石炭集中発電のほぼ100%を所有・運転するDONG Energy(現社名:Ørsted)は、Biofuelの利用を進め2023年までに石炭利用を停止すると発表した。
- 2017年11月、政府はCOP23において、2030年までに発電での石炭使用をゼロにすると発表した。デンマークの脱化石燃料政策は加速すると予想される。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本とデンマークは、再生可能エネルギー・省エネルギーなどでの協力や、日EU経済連携協定(EPA)の早期締結で共通している。
- 2014年4月発足のMHI Vestas Offshore Wind社(三菱重工業とデンマークVestas社の合弁)は世界最大出力8MW級の洋上風力ユニットを製造、順調に受注を続けている。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Denmark		(2016年)
(1) 一次エネルギー供給量		17 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.89 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.05 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		90 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2015年)		32.0 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2015年)		5.60 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	12 %
	石油	36 %
	天然ガス	17 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	35 %
(8) エネルギーの輸入依存度		10 %
(9) 石油の輸入依存度		-21 %
(10) 輸入原油の中東依存度		0.0 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ノルウェー
	第2位	ロシア
	第3位	ナイジェリア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA